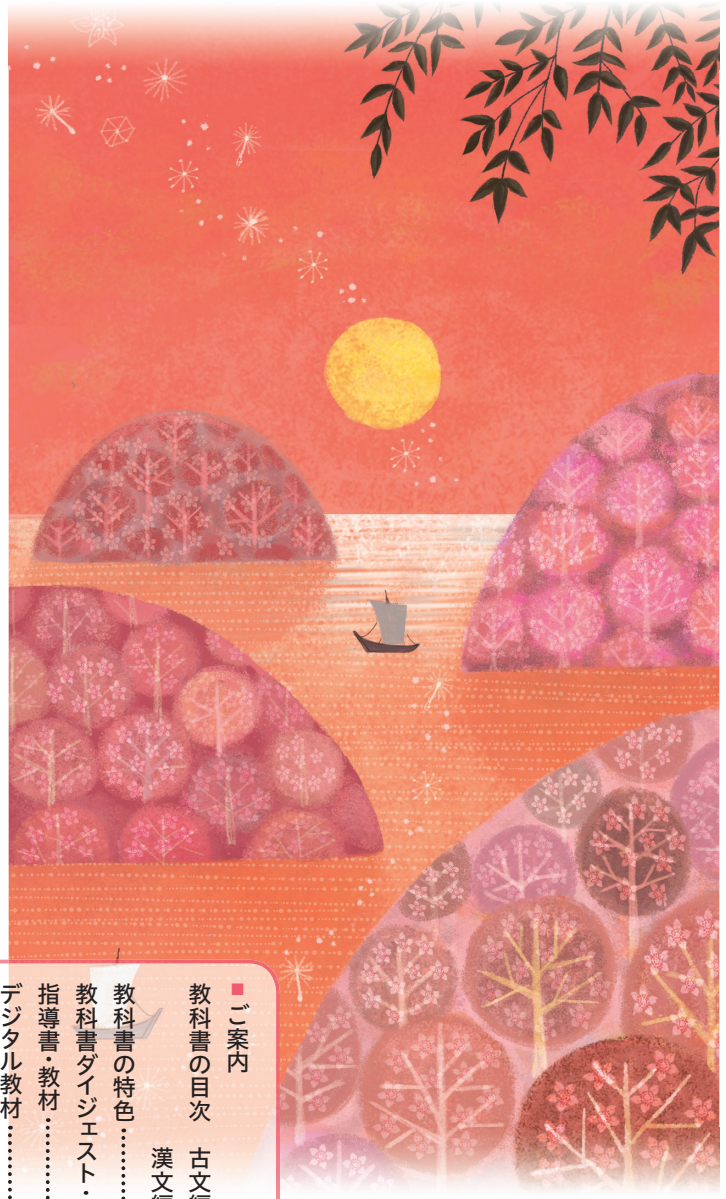
03教・内容解説資料

2018年度～用 三省堂国語教科書

精選 古典B 改訂版

A5判・372ページ
古文 66 教材
漢文 68 教材



■ご案内

教科書の目次　古文編……1
　　漢文編……4
教科書の特色……8
教科書ダイジェスト……10
指導書・教材……30
デジタル教材……32

三省堂

*この資料は，一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則って作成しています。

古B 335

三省堂版 国語教科書

★印は平成29年度新刊，☆印は平成30年度新刊です。

国語総合

★ 
高等学校国語総合 現代文編［改訂版］
A5判／280ページ　国総 336

★ 
高等学校国語総合 古典編［改訂版］
A5判／192ページ　国総 337

★ 
精選国語総合［改訂版］
A5判／400ページ　国総 338

★ 
明解国語総合［改訂版］
A5判／360ページ　国総 339

現代文B

☆ 
高等学校現代文B［改訂版］
A5判／440ページ　現B 323

☆ 
精選現代文B［改訂版］
A5判／408ページ　現B 324

☆ 
明解現代文B［改訂版］
A5判／372ページ　現B 325

古典B

☆ 
高等学校古典B 古文編［改訂版］
A5判／260ページ　古B 333

☆ 
高等学校古典B 漢文編［改訂版］
A5判／184ページ　古B 334

☆ 
精選古典B［改訂版］
A5判／372ページ　古B 335

現代文A


現代文A
B5判／144ページ　現A 303

古典A


古典A
B5判／144ページ　古A 306

精選古典B編集委員

中洌正堯　兵庫教育大学名誉教授
岩崎昇一　東京都立国際高等学校
赤井益久　國學院大學
安藤延明　高槻中学校・高等学校
石村貴博　専修大学
大島　晃　上智大学名誉教授
風間誠史　相模女子大学
小池保則　武蔵高等学校中学校
瀧　康秀　清泉女学院中学高等学校
田口かおる　東京都立豊多摩高等学校
田中尚子　愛媛大学
長尾直茂　上智大学
長屋万里子　東京都立国際高等学校
奈良部真樹子　千葉県立船橋芝山高等学校
福家俊幸　早稲田大学
細谷敦仁　東京都立戸山高等学校
堀口良恵　東京都立三田高等学校
松下愛理　東京都立深沢高等学校

★三省堂教科書・教材サイト
https://tb.sanseido.co.jp　三省堂国語教科書　検索

三省堂
〒101-8371 東京都千代田区神田三崎町2-22-14　☎03(3230)9411(編集)・9556(営業)
●大阪支社 〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-5-3　☎06(6341)2177
●名古屋支社 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-21-31 協和丸の内ビル2F　☎052(953)9211
●九州支社 〒810-0012 福岡市中央区白金1-3-1　☎092(531)1531・1532
●札幌営業所 〒060-0042 札幌市中央区大通西15-2-1 ラスコム15ビル 3F　☎011(616)8722

古文編

■教材として定評のあるものを中心に、豊富な教材を配列。興味をもって学べるよう、古典と現代とのつながりが感じられる作品を多く取り上げました。

■作品の背景を解説した「古典の扉」と、現代とのつながりを感じられる「今に生きる古典」の二種類のコラムを設けました。

＊：本内容解説資料でご紹介するページ

第一部

一 説話

博雅の三位と鬼の笛　十訓抄

小野篁、広才のこと　宇治拾遺物語

大江山　古今著聞集

二 随筆（一）

徒然草（兼好法師）

あだし野の露消ゆる時なく／悲田院の尭蓮上人は／

家居のつきづきしく／五月五日、賀茂の競べ馬を／

世に従はん人は

方丈記（鴨長明）

ゆく河の流れ／養和の飢饉

参考 日野山の閑居

◆古典の扉　隠者の文学

三 物語（一）

竹取物語　かぐや姫の昇天

伊勢物語

＊初冠／月やあらぬ／行く蛍／小野の雪

＊参考 つひにゆく道

大和物語　姨捨

四 随筆（二）

枕草子（清少納言）

春はあけぼの／すさまじきもの／

中納言参り給ひて／雪のいと高う降りたるを

五 物語（二）

源氏物語（紫式部）

光源氏の誕生［桐壺］／藤壺の入内［桐壺］／

北山の垣間見［若紫］

大鏡

花山院の出家／弓争ひ

参考 雲林院の菩提講

＊◆古典の扉 「声」を聞く——物語の歴史

六 日記

更級日記（菅原孝標女）

あこがれ／源氏の五十余巻

七 軍記

建礼門院右京大夫集（建礼門院右京大夫）

なべて世のはかなきことを

平家物語

忠度の都落ち／能登殿の最期

◉今に生きる古典　平家の光と影をたどる

八 伝承

古事記　倭建の東征

九 和歌

和歌十六首

十 俳諧と俳文

近世俳諧

野ざらし紀行（松尾芭蕉）



冒頭の単元には、親しみやすく定評のある説話を配置。国語総合での学習から、スムーズに接続できるようにしました。



主要な作品を網羅したうえで、伝承や俳諧、近世小説など、幅広いジャンルにふれられるようにしました。

第二部

一 随筆

枕草子（清少納言）
ありがたきもの／木の花は／
二月つごもりごろに／大納言殿参り給ひて

二 物語（一）

源氏物語（紫式部）
＊廃院の怪［夕顔］／心づくしの秋風［須磨］／
明石の君の苦悩［薄雲］／萩の上露［御法］
＊◉今に生きる古典　広がる源氏物語の世界

三 日記

蜻蛉日記（藤原道綱母）
うつろひたる菊／鷹を放つ

和泉式部日記（和泉式部）
夢よりもはかなき世の中を

四 物語（二）

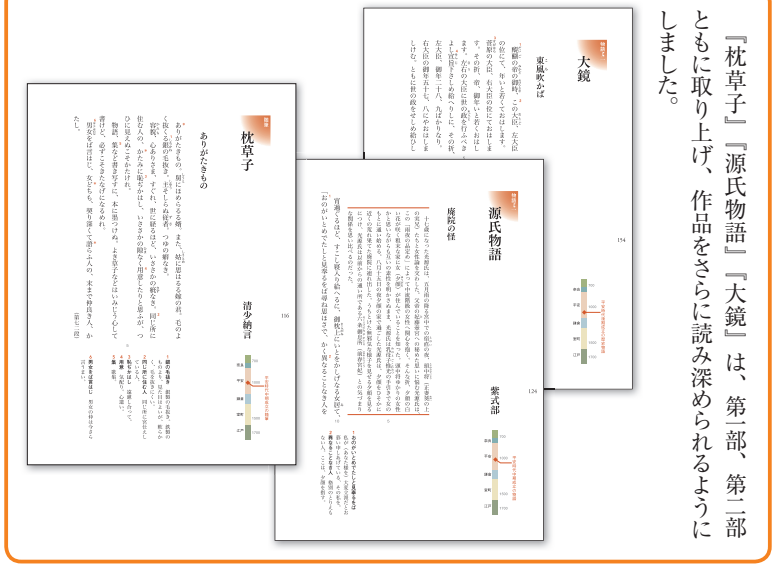
紫式部日記（紫式部）
秋のけはひ／和泉式部と清少納言
◆古典の扉　平安時代の文学――女性と仮名

大鏡
東風吹かば／都府楼の鐘／最後の除目／
三舟の才／肝試し

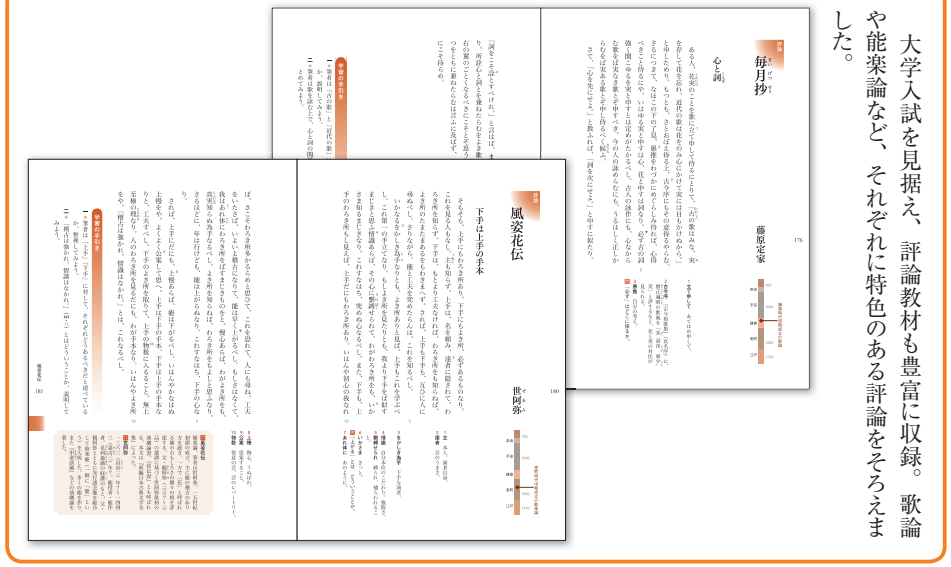
五 評論

古今和歌集仮名序（紀貫之）やまと歌は
俊頼髄脳（源俊頼）杳冠折句の歌
無名草子　文
無名抄（鴨長明）深草の里
毎月抄（藤原定家）心と詞
正徹物語（正徹）待つ恋
風姿花伝（世阿弥）下手は上手の手本
去来抄（向井去来）行く春を／岩鼻や
源氏物語玉の小櫛（本居宣長）もののあはれ
西鶴諸国ばなし（井原西鶴）大晦日は合はぬ算用
雨月物語（上田秋成）浅茅が宿

六 近世小説



『枕草子』『源氏物語』『大鏡』は、第一部、第二部ともに取り上げ、作品をさらに読み深められるようにしました。



大学入試を見据え、評論教材も豊富に収録。歌論や能楽論など、それぞれに特色のある評論をそろえました。

漢文編

■ 教材として定評のあるものを中心に、豊富な教材を配列。興味をもって学べるよう、古典と現代とのつながりが感じられる作品を多く取り上げました。

■ 作品の背景を解説した「古典の扉」と、現代とのつながりを感じられる「今に生きる古典」の二種類のコラムを設けました。

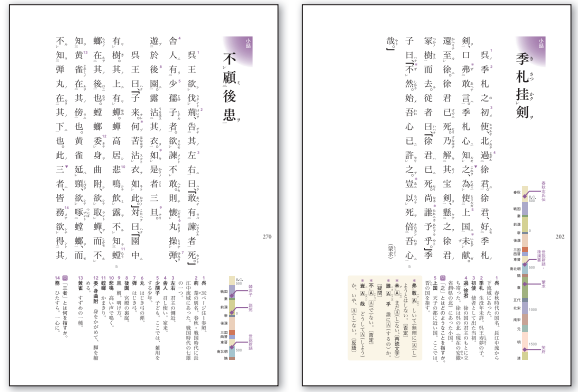
第一部

一 小話
季札挂剣（蒙求）
漱石枕流（世説新語）
畏饅頭（笑府）新
梁上君子（後漢書）
病入膏肓（春秋左氏伝）
紀昌貫虱（蒙求）

二 漢詩（近体詩）
鹿柴（王維）／宿建徳江（孟浩然）／
春夜洛城聞笛（李白）／別董大（高適）／
涼州詞（王之渙）／送友人（李白）／
月夜（杜甫）／
八月十五日夜、禁中独直、対月憶元九（白居易）／
遊山西村（陸游）

三 史伝
史記（司馬遷）
鴻門之会（項羽本紀）／四面楚歌（項羽本紀）／
項王最期（項羽本紀）
参考 題烏江亭（杜牧）

第一部、第二部とも、冒頭の単元には、展開や内容を捉えやすい小話を配置。訓読に慣れ親しむとともに、漢文の世界の幅を知ることができます。



四 文章
桃花源記（陶潜）
愛蓮説（周敦頤）
＊漁父辞（屈原）

五 思想
＊◆古典の扉 漁師と隠者
春夜宴桃李園序（李白）
儒家・道家の思想
論語 子曰、「富与貴／子曰、「道之以政／子貢問政
孟子 無恒産而有恒心者／不忍人之心
荀子 人之性悪
老子 大道廃、有仁義／小国寡民
荘子 曳尾於塗中／渾沌

六 小説
酒虫（蒲松齢）
人虎伝（李景亮）

七 日本の漢詩文
冬夜読書（菅茶山）
泊天草洋（頼山陽）
桂林荘雑詠示諸生（広瀬淡窓）
送夏目漱石之伊予（正岡子規）
題自画（夏目漱石）
航西日記（森鷗外）
◆古典の扉 日本の漢詩文

漢詩、史伝、思想、小説など、ふれておきたいジャンル、作品を網羅。漢文のおもしろさを存分に味わいながら、漢文を読む力が確実に身につきます。



第二部

一 小話
不顧後患（説苑）
三横（世説新語）新
不死之薬（韓非子）新

二 史伝（一）
「三国志」の世界
＊乱世之姦雄（十八史略）
＊三往、乃見（三国志）
進遇於赤壁（十八史略）
股肱之力（十八史略）新

三 漢詩（一）（古体詩）
＊◉今に生きる古典　日本人と三国志
桃夭／陟岵／
生年不満百／秋風辞（漢武帝）／
飲酒（陶潜）／子夜呉歌（李白）／
兵車行（杜甫）
人面桃花（孟棨）
葉限（段成式）新

四 小説
◆古典の扉　日本の漢籍受容
史記――廉頗と藺相如（司馬遷）
完璧帰趙／澠池之会／刎頸之交
史記――荊軻（司馬遷）
風蕭蕭兮易水寒／図窮而匕首見

五 史伝（二）
捕蛇者説（柳宗元）

六 文章
赤壁賦（蘇軾）

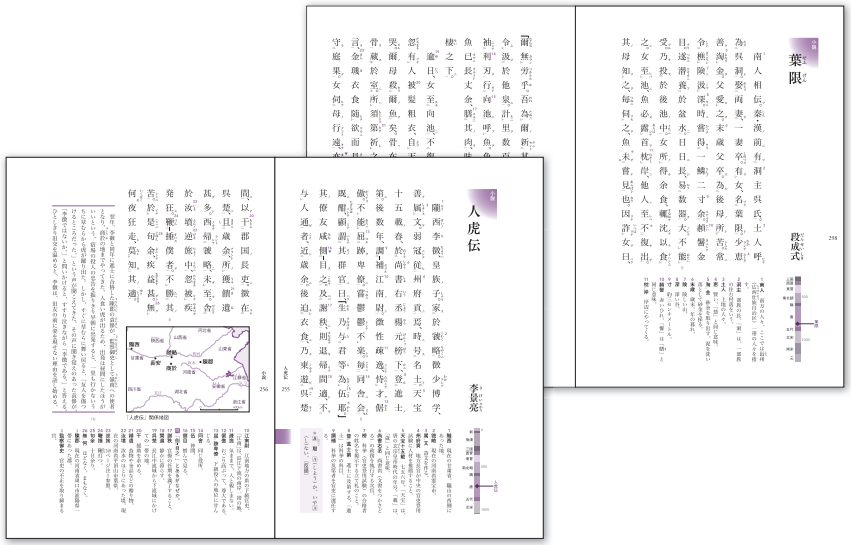
七 思想
思想と寓話
孟子　何必曰利／性猶湍水也
荀子　青取之於藍、而青於藍
老子　天下莫柔弱於水
荘子　夢為胡蝶／北冥有魚
列子　愚公移山
韓非子　聖人不期修古
墨子　非攻
◆古典の扉　諸子の思想と寓話

八 漢詩（二）
長恨歌（白居易）
参考 桐壺（源氏物語）／七月七日（更級日記）

付録
古典文法要覧／古典文学史年表／
漢文の基本形式／漢文参考略年表
資料
旧国名・都道府県名対照図／装束／
住居・調度／陰暦ほか／古時刻・古方位ほか／
春秋時代要図・戦国時代要図
見返し
平安京条坊図／京都付近地図・奈良付近地図／
中国参考地図

漢文の世界のひろがりや、現代とのつながりが感じられる作品やコラムを豊富に収録しました。



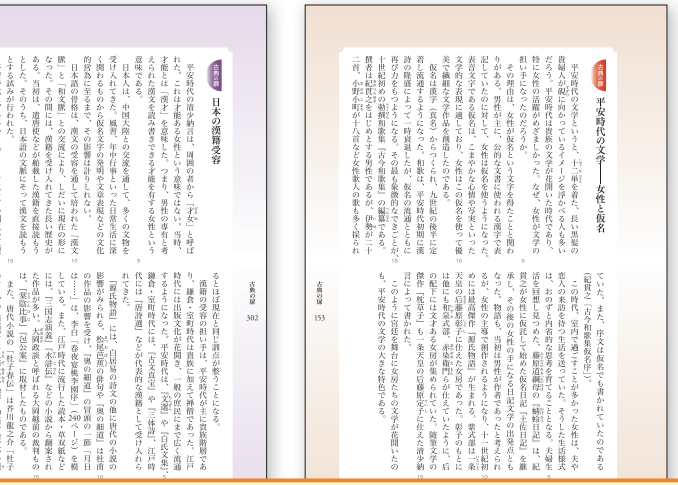


教科書の特色



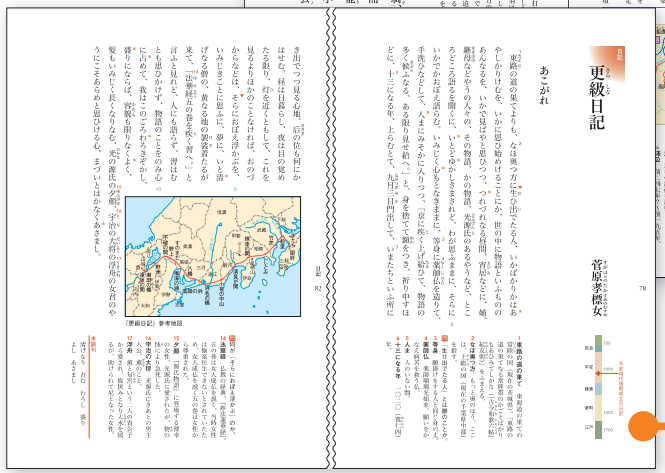
古典への理解を深める「古典の扉」

作品の時代背景や古人のものの見方にふれることができるコラムを随所に設定し，古典への理解がより深まるようにしました。



成立年代バー

文学史におけるその作品の位置がひとめでわかります。



古典の読解を支える工夫

本文と関係の深い図版や資料を配置したり，内容理解のポイントを脚問で示すなど，古典の読解を助ける工夫を随所に凝らしました。



古典をより身近に感じる「今に生きる古典」

現代とのつながりという観点から古典の世界について解説したコラムを特設し，古典をより身近に感じられるようにしました。



物語…一

伊勢物語

古文は、生徒にふれさせたい作品を豊富に収録。内容をイメージしやすくする図版や資料を配置するなど、読解に役立つとともに、見て楽しくなるような工夫を随所に凝らしました。

初冠

昔、男、初冠して、奈良の京、春日の里に、しる由して、狩りに往にけり。その里に、いとなまめいたる女はらから住みけり。この男、垣間見てけり。思ほえず、ふるさとにいとはしたなくてありければ、心地惑ひにけり。男の、着たりける狩衣の裾を切りて、歌を書きてやる。その男、しのぶずりの狩衣をなむ着たりける。

5



『伊勢物語絵巻』

教材名の下に「成立年代バー」をおき、ひとめで作品の成立時期がわかるようにしました。



1 初冠 元服して、初めて冠を着けること。男子が十代前半に行う成人の儀。

2 春日の里 平城京（現在の奈良市）の東部。春日山の西麓の地域。

3 しる由して 領有している縁で。

4 狩り 鷹狩り。

問 「ふるさと」とはどこのことか。

5 狩衣 もとは狩りの際に貴族が着用した装束。後に平常服となった。巻末「装束」参照。

6 しのぶずり 陸奥の国信夫郡（現在の福島県福島市）から産出されたという「忍草」の茎や葉で乱れ模様をすりつけた布。後出の「しのぶもぢずり」も同じ。

春日野の若紫のすり衣しのぶの乱れ限り知られず

となむ、追ひつきて言ひやりける。ついでおもしろきこととともや思ひけむ。

陸奥のしのぶもぢずり誰ゆゑに乱れそめにし我ならなくに

といふ歌の心ばへなり。昔人は、かくいちはやきみやびをなむしける。

（第一段）

5

7 春日野の…… 上三句は「しのぶ」の序詞。「しのぶの乱れ」は「しのぶずりの乱れ模様」と「こいしのぶ心の乱れ」との掛詞。

8 追ひつきて すぐに。

9 ついで 事のなりゆき。

10 陸奥の…… 『古今和歌集』所収の河原左大臣源融の歌。上二句は「乱れ」の序詞。

11 いちはやきみやび 情熱をこめた風雅なふるまい。

＊語句

由　なまめく　はらから　ふるさと
はしたなし　惑ふ　限り
おもしろし　心ばへ　みやび

文法を理解するための問いと内容を理解するための問いを教材に応じて設けました。

学習の手引き

一 ❖次の傍線部の違いを、文法的に説明してみよう。

①狩りに往にけり。（40・2）

②誰ゆゑに乱れそめにし（41・3）

二 ❖「春日野の……」（41・1）の歌は「陸奥の……」（41・3）の歌をどのように取り入れているか、まとめてみよう。

三 ❖男のどのような行動が「いちはやきみやび」（41・4）であったのか、話し合ってみよう。

教材の理解をより深めるため、参考となる章段を適宜示しました。

参考

つひにゆく道

昔、男、わづらひて、心地死ぬべくおぼえければ、
つひにゆく道とはかねて聞きしかどきのふ今日とは思はざりしを
（第一二五段）



『伊勢物語図色紙』（江戸時代前期）

◆**伊勢物語**
歌物語。作者未詳。平安時代初期の成立。百二十余段からなる。在原業平と考えられる「男」の一代記のように構成されており、各段は和歌を核として、男女の愛、肉親の情などが描かれている。本文は『新編日本古典文学全集』によった。

古典への理解を深めたり，現代との関わりを考えたりすることができるコラム「古典の扉」を随所に設けました。

古典の扉

「声」を聞く——物語の歴史

「物語」には「声」がある。

仮名散文によって書きつづられた物語は、語り手によって聞き手に語り聞かせる趣で書かれているからだ。

今は昔、竹取の翁（おきな）といふ者ありけり。……もと光る竹なむ一筋ありける。あやしがりて、寄りて見るに、筒の中光りたり。……手にうち入れて、家へ持ちて来ぬ。妻（め）の嫗（おうな）に預けて養はす。（『竹取物語』）

現存する最古の物語といわれる『竹取物語』は、竹の中の「三寸ばかりなる人」を発見する不思議な場面から始まる。耳をすますと、文末表現は「けり」からしだいに現在形に変わっていき、「聞き手」は知らないうちに物語の世界に入り込んで、目の前にできごとを見て感じることになる。さらに耳を傾けると、物語にはため息、昂揚（こうよう）、時には批評など、語るできごとに対する架空の語り手の言葉が聞こえてくる。

上達部（かんだちめ）、上人（うへびと）などもあいなく目をそばめつつ、いとまばゆき人の御覚えなり。（『源氏物語』光源氏の誕生）

語り手は、帝の桐壺更衣（きりつぼのこうい）への寵愛（ちょうあい）に対し目を背ける上達部、殿上人（てんじょうびと）の態度を「あいなし（筋違いにも）」と批判しているのだ。そんな「声」に導かれ、読者は自らできごとを批評し、想像をかきたてられていく。

『竹取物語』の作り物語の虚構性と十世紀に登場した『伊勢物語』などの歌物語の抒情性（じょじょう）、『蜻蛉日記（かげろうにっき）』に始まる女流日記文学の内面性が結実した作品が十一世紀初め成立の『源氏物語』だ。この物語ではしばしば語り手の「声」が事の真相や意味を問うが、そこに作品世界を相対化する批評性も生まれてきた。

その後十一〜十二世紀には歴史物語が新生面を切り開いた。『大鏡』は藤原道長（ふじわらのみちなが）の栄華を主題とするが、作者は雲林院（うりんいん）の菩提講（ぼだいこう）で主に百八十歳を超える老翁二人が見聞きした「歴史」を語るという「語り」の場を虚構する。複数の「声」を響かせることで、政治の裏側までも描き出して「歴史」への批判性を獲得したのである。

「声」の歴史は続く。鎌倉時代には軍記物語が登場するが、『平家物語』には琵琶（びわ）法師の「声」によって生き生きと時代を語る「平曲」の息づかいが今に残る。

「物語」は耳を傾けて読みたい。

物語……一

源氏物語

各作品、豊富な章段を収録。特に、「源氏物語」「大鏡」は、第一部・第二部ともに取り上げ、物語の幅広い世界を味わえるようにしました。

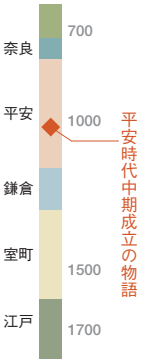
紫式部

廃院の怪

十七歳になった光源氏は、五月雨の降る宮中での宿直の夜、頭中将（正妻葵の上の実兄）たちと女性論を交わした。父帝の妃藤壺宮への秘めた思いに悩む光源氏は、この「雨夜の品定め」によって中流階級の女性へ関心を抱く。そんな折、夕顔の白い花が咲く粗末な家に女（夕顔）が住んでいることを知った。頭中将ゆかりの女性かと思いながらも互いの素性を明かさぬまま、光源氏は乳母子惟光の手引きで女のもとに通い始める。八月十五日の夜夕顔の家で過ごした光源氏は、夕顔をひそかに近くの荒れ果てた廃院に連れ出した。うちとけた無邪気な様子を見せる夕顔を見るにつけ、光源氏は以前からの通い所である六条御息所（前春宮妃）との気づまりな関係を思い比べるのだった。

宵過ぐるほど、すこし寝入り給へるに、御枕上にいとをかしげなる女居て、[1]「おのがいとめでたしと見奉るをば尋ね思ほさで、[2]かく異なることなき人を率ておはして時めかし給ふこそ、いとめざましくつらけれ。」とて、この御かたはらの人をかき起こさむとすと見給ふ。物に襲はるる心地して、驚き給へれば、灯も消えにけり。うたて思さるれば、[3]太刀を引き抜きてうち置き給ひて、[4]右近を起こし給ふ。これも恐ろしと思ひたるさまにて参り寄れり。「[5]渡殿なる[6]宿直人起こして、[7]紙燭さして参れと言へ。」とのたまへば、「いかでかまからむ、暗うて。」と言へば、「あな若々し。」とうち笑ひ給ひて、手を叩き給へば、山彦の答ふる声いと疎まし。人え聞きつけで参らぬに、この女君いみじくわななき惑ひて、いかさまにせむと思へり。汗もしとどになりて、我かの気色なり。「もの怖ぢをなむわりなくせさせ給ふ本性にて、いかに思さるるにか。」と右近も聞こゆ。いとか弱くて、昼も空をのみ見つるものを、いとほしと思して、「我人を起こさむ。手叩けば山彦の答ふる、いとうるさし。ここに、しばし、近く。」とて、右近を引き寄せ給ひて、西の[8]妻戸に出でて、戸を押し開け給へれば、渡殿の灯も消えにけり。風すこしうち吹きたるに、人はすくなくて、候ふかぎり皆寝たり。この院の預かりの子、睦ましく使ひ給ふ若き男、また上童一人、例の随身ばかりぞありける。召せば、御答へして起きたれば、「紙燭さして参れ。随身も弦打ちして絶えず声

1 **おのがいとめでたしと見奉るをば** 私が（あなた様を）大変立派だとお慕い申しあげている、その私を。
2 **異なることなき人** 格別のとりえもない人。ここは、夕顔を指す。



問「見給ふ」とは、誰が何を見たのか。
3 **太刀** ここは、魔除けのための護身用の太刀。
4 **右近** 夕顔の侍女。
5 **渡殿** 二つの主要な建物をつなぐ通路のような建物。ここは、渡殿の片側に造ってある小部屋。
6 **宿直人** 夜間に警護の役目を負う人。
7 **紙燭** 細い松の棒で、手で持つ部分に紙を巻いた携帯用の照明具。
問誰の「本性」か。
8 **妻戸** 寝殿造りの建物の四隅にある両開きの板戸。
9 **預かりの子** 管理人の子。
10 **上童** 殿上童。貴族の子息で、見習いのために昇殿を許され、召し使われる少年。ここは、源氏の従者の一人。
11 **随身** 勅命によって貴人の警護のために刀や弓矢を携えて付き従った近衛府などの役人。
12 **弦打ち** 鳴弦。魔除けのために矢をつがえず、弦だけを鳴らすこと。
13 **声づくれ** 警戒の声をたてよ。

＊語句
まかる　しとどに　もの怖ぢ
睦まし

づくれと仰せよ。人離れたる所に心とけて寝ぬるものか。惟光朝臣の来たりつらむは。」と問はせ給へば、「候ひつれど仰せ言もなし、暁に御迎へに参るべき由申してなむ、まかで侍りぬる。」と聞こゆ。このかう申す者は、滝口[14]なりければ、弓弦いとつきづきしくうち鳴らして、「火危ふし。」と言ふ言ふ、預かりが曹司[15]の方に去ぬなり。内裏を思しやりて、名対面[16]は過ぎぬらむ、滝口[17]の宿直奏し今こそ、と推しはかり給ふは、まだいたう更けぬにこそは。

帰り入りて探り給へば、女君はさながら臥して、右近はかたはらにうつ伏し臥したり。「こはなぞ、あなもの狂ほしのもの怖ぢや。荒れたる所は、狐などやうのものの人おびやかさむとて、け恐ろしう思はするならむ。まろあれば、さやうのものにはおどされじ。」とて引き起こし給ふ。「いとうたて乱り心地の悪しう侍れば、うつ伏し臥して侍るや。御前にこそわりなく思さるらめ。」と言へば、「そよ、などかうは。」とてかい探り給ふに息もせず。引き動かし給へど、なよなよとして、我にもあらぬさまなれば、いといたく若びたる人にて、物にけどられぬるなめりと、せむ方なき心地し給ふ。紙燭持て参れり。右近も動くべきさまにもあらねば、近き御几帳を引き寄せて、「なほ持て参れ。」とのたまふ。例ならぬことにて、御前近くもえ参らぬつつ

14 滝口　滝口の武士。蔵人所に属し、宮中の警備にあたった。

15 曹司　部屋。

問「去ぬなり」と判断した根拠は何か。

16 名対面　宮中で亥の一刻（午後九時頃）に毎夜行われる宿直の殿上人の点呼。本人が姓名を名のる。

17 滝口の宿直奏し　宿直の滝口の武士の点呼。「名対面」のあとに行う。

問「御前にこそわりなく思さるらめ」とは、誰がどのような様子であるということか。

18 けどられぬるなめり　正気を奪われてしまったのだろう。

ましさに、[19]長押にもえのぼらず。「なほ持て来や。所に従ひてこそ。[20]」とて、召し寄せて見給へば、ただこの枕上に夢に見えつる容貌したる女、面影に見えてふと消え失せぬ。昔物語などにこそかかることは聞け、といとめづらかにむくつけけれど、まづ、この人いかになりぬるぞと思ほす心騒ぎに、[21]身の上も知られ給はず添ひ臥して、「やや。」と驚かし給へど、ただ冷えに冷え入りて、息はとく絶え果てにけり。言はむ方なし。頼もしくいかにと言ひふれ給ふべき人もなし。法師などをこそはかかる方の頼もしきものには思すべけれど。さこそ強がり給へど、若き御心にて、言ふかひなくなりぬるを見給ふに、やる方なくて、つと抱きて、「あが君、生き出で給へ、いといみじき目な見せ給ひそ。」とのたまへど、冷え入りにたれば、けはひもの疎くなりゆく。右近は、ただあなむつかしと思ひける心地みな覚めて、泣き惑ふさまいといみじ。[23]南殿の鬼のなにがしの大臣おびやかしける例を思し出でて、心強く、「さりともいたづらになり果て給はじ。夜の声はおどろおどろし。あなかま。」と諫め給ひて、いとあわたたしきにあきれたる心地し給ふ。（夕顔）

19 長押　ここは、下長押のことで、簀子から廂の間に上がる部分の間仕切りのために渡した横木。

20 所に従ひてこそ　遠慮も場所次第だ。

21 身の上も知られ給はず　自分の身の危険もお考えになれず。

22 もの疎くなりゆく　うす気味悪くなっていく。ここは、死相が表れてきたこと。

23 南殿の鬼の……おびやかしける例　紫宸殿の鬼が藤原忠平（八八〇～九四九）を脅かしたが、反対に追い払われた例（『大鏡』忠平伝）。

問「さりとも」とは、どのようなことを受けているか。

＊語句

さながら　なぞ　もの狂ほし　まろ
我にもあらず　つつましさ
むくつけし　言はむ方なし　頼もし
むつかし　いたづらになる
おどろおどろし　あなかま
あわたたし

現代とのつながりという観点から古典の世界について解説したコラム「今に生きる古典」。古典をより身近に感じられるようになり，古典に親しもうとする態度を養います。

今に生きる 古典

広がる源氏物語の世界

源氏物語は、現在のような印刷技術のなかった時代に、この物語に魅了された多くの人々の手によって一文字一文字書き写され、千年の時を越えて今に伝わった長編物語である。長い年月の間には、火災や戦乱など、写本を次代に受け継いでいく上で危機とされる状況もあった。しかし、多くの人に守られて困難をくぐり抜け、文学や芸術、芸能に多大な影響を及ぼし続けてきた。

源氏物語には、平安貴族の美意識、当時の社会や政治のあり方、さまざまな状況における人の心理などが、当時の先行文学や中国文学に関する膨大な知識と教養に裏づけられた重厚かつ流麗な文章で描かれており、それ以前の物語にはみられない壮大な物語世界が築きあげられている。『更級日記』に描かれているように同時代の若い女性にとっては憧れの世界であり、知識の豊富な人にとってはさまざまな先行文学を随所に垣間見るおもしろさを味わえる作品であって、それぞれの人がさまざまな読み方のできる奥行きのある物語だった。また、絢爛たる絵巻物が今日まで伝わっていることからもわかるとおり、視覚的にも楽しめるものであった。当然ながら後に続く作品への影響は大きく、『浜松中納言物語』『狭衣物語』など、源氏物語に着想を得、表現の上でも多大な影響を受けたと思われる作品が幾つもみられる。

貴族社会が力を失ってくると、源氏物語はかつての輝かしい貴族社会を髣髴とさせる物語として愛好されるようになり、特に歌人にとっての基礎教養となっていった。時代の変化の中で原文の読解がしだいに困難になってくると注釈書が書かれるようになり、平安時代末期から現代に至るまで数多くの注釈書が世に出ている。中世には能・狂言といった芸能が盛んになるが、能に「葵上」「源氏供養」という演目があるように、源氏物語は上流階層にとってなじみのある作品だった。江戸時代には、香道では源氏香が生まれ、



源氏香図　源氏香は、「組香」の一つ。五つの香木を順に焚き、その香りの異同を嗅ぎ分けて図で示す。図には桐壺と夢浮橋を除く五十二帖の名がついている。

絵画では源氏絵が描かれた。また、版本が刊行され、庶民階級に普及し、婦女子向けの手軽な読み物として、翻案小説ともいうべき『修紫田舎源氏』が書かれた。このように、一条天皇の後宮の女房であった紫式部を出発点に平安朝貴族社会に広がった源氏物語は、時代が下るにつれその裾野を広げていったのである。

近代以降は、与謝野晶子、谷崎潤一郎、円地文子、瀬戸内寂聴、田辺聖子、橋本治、大塚ひかり、林望などの作家によってそれぞれの解釈に基づいた現代語訳が書かれ、一方で現代語訳より親しみやすい二次創作や翻案小説も刊行されている。また、大和和紀作『あさきゆめみし』、小泉吉宏作『大江源氏物語　まろ、ん？』などの漫画も登場し、映画やテレビドラマ、アニメーションなどいろいろなメディアによって源氏物語に親しむ入り口は増えて、各人の関心のある分野から物語に迫ることができるようになった。

そして現在、源氏物語は世界中に広がり、英語、仏語、独語をはじめとした欧米諸国言語、中国語、韓国語、モンゴル語、ヒンディー語、ウルドゥー語など、さまざまな言語に翻訳されている。特に、アーサー・ウェイリーの英訳 “The Tale of Genji” には定評があり、多くの外国人研究者に影響を与えている。また、フランスではエステル・レジェリー＝ボエールが世界に散らばっていた源氏絵を調査し、二〇〇七年に豪華美術本全三巻にまとめた。

源氏物語が誕生して一千年、物語の世界はさまざまなメディア、言語に変換され、今後ますます広がっていくことだろう。しかしどれもあくまで解釈の一つの姿にすぎないことを忘れないでほしい。そして、何かの機会にぜひ原文に立ち返ってみてもらいたい。きっとそこには思いもかけない豊かな世界が広がっているはずだ。

『修紫田舎源氏』（江戸時代後期）

文章

漁父辞

屈原

漢文は、教材として定評ある作品を豊富に収録。人間の生き方やものの見方・考え方がよく表れているものや現代と関連づけて読めるものを選んで教材化しました。

屈原既放、遊於江潭、行吟沢畔。顔色憔悴、形容枯槁。

漁父見而問之曰、「子非三閭大夫与。何故至於斯。」

屈原曰、「挙世皆濁、我独清。衆人皆酔、我独醒。是以見放。」

漁父曰、「聖人不凝滞於物、而能与世推移。世人皆濁、何不淈其泥、而揚其波。衆人皆酔、何不餔其糟、而歠其醨。何故深思高挙、自令放為。」

屈原曰、「吾聞之。『新沐者必弾冠、新浴者必振衣。』安能以身之察察、受物之汶汶者乎。」

寧赴湘流、葬於江魚之腹中、安能以皓皓之白、而蒙世俗之塵埃乎。」

漁父莞爾而笑、鼓枻而去。乃歌曰、

滄浪之水清兮、可以濯吾纓。

滄浪之水濁兮、可以濯吾足。

遂去不復与言。

（古文真宝）

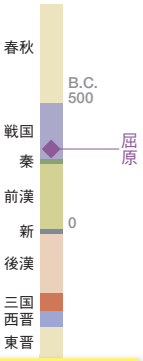
◆辞　文体の一種。叙情を主とし、韻を踏む。

1 江潭　川のほとり。
2 沢畔　沼沢のほとり。
3 枯槁　痩せこけている。
4 漁父　漁師。「父」は男子の敬称。
5 三閭大夫　楚の王族である昭・屈・景の三氏（三閭）をつかさどる官。

問「濁」「酔」とは、それぞれどのようなことをたとえているか。

6 凝滞　こだわる。
7 淈　かき混ぜて濁す。
8 糟　酒の搾りかす。
9 醨　酒のかすに水を加えて搾った薄い酒。
10 高挙　孤高を保つ。
11 沐　髪を洗う。
12 弾冠　冠のちりを払う。
13 察察　潔白な様子。
14 汶汶　汚れている様子。
15 湘流　湘江。湖南省の川。北流して洞庭湖に注ぐ。
16 皓皓　潔白な様子。
17 莞爾　にっこりと笑う。
18 鼓枻　音をたてて勢いよくかいをこぐ。
19 滄浪　漢水の下流。漢水は陝西省に発して、湖北省武漢市の辺りで長江に合流する川。
20 纓　冠のひも。

＊非A与　Aではないか。〔疑問〕
＊何故A　どうしてAなのか。〔疑問〕
＊見A　Aされる。〔受身〕
＊何不A（乎）　どうしてA（し）ないのか、いや、Aすればよいではないか。〔反語〕



教材名の下に「成立年代バー」をおき，ひとめで作品の成立時期や作者の活動時期などがわかるようにしました。

学習の手引き

一 ❖本文中の対句を指摘してみよう。

二 ❖屈原と漁父の考え方の違いをまとめてみよう。

三 ❖屈原の生き方について感じたこと、考えたことを話し合ってみよう。

文法や漢字について理解を深める問いと内容を理解するための問いを設けました。



『屈原』（1898年　横山大観筆）

＊安能A乎　どうしてA（する）ことが）できようか、いや、決してAできない。〔反語〕

＊寧A、安能B乎　いっそAする）としても、どうしてB（することが）できようか、いや、決してできない。〔選択〕

＊可以A　それでA（すること）ができる。〔可能〕

＊不復A　二度とはA（し）ない。〔部分否定〕

◆古文真宝　235ページ参照。

◆屈原　前三四三年？～前二七七年？。名は平、字は原。戦国時代の政治家。楚の王族に生まれ、懐王（在位前三二八～前三〇六）の信任が厚かったが、讒言にあって追放され、汨羅江（湖南省）に身を投げて死んだ。

古典への理解を深めたり，現代との関わりを考えたりすることができるコラム「古典の扉」を随所に設けました。

古典の扉

漁師と隠者

わが国では、釣り人を「太公望」とも呼ぶ。この命名は、中国古代斉国の太公望呂尚にちなんでいる。呂尚の家は、治水の天子といわれた夏の禹王の時に大いに功績があって栄えていたが、呂尚の時には落ちぶれていた。老齢になるまで困窮を余儀なくされた呂尚は、渭水のほとりで釣り糸を垂れながら、後の文王西伯昌の知遇を求めていた。

文王を助けて周を盟主に導いた功績で、呂尚をしのぐ者はいない。歴史書には、神格化した姿で描かれている。呂尚の特異な風貌は、後に権謀術数をもって文王・武王のブレーンとなり、やがて斉に封ぜられる出世ぶりに似つかわしい。

陶淵明の「桃花源記」では、道に迷って平和な世界に足を踏み入れる役割を「漁師」が演じており、屈原の「漁父辞」には、儒家的な言辞を弄する屈原に対して道家的な主張を繰り返す漁父が登場する。これらの人物像は、古く『荘子』漁父編に登場する、礼を否定して自然の真情を尊重すべきであると孔子に進言する漁父などに原像があると考えられる。

名利に超然とし、権勢にとらわれず、小舟に乗って波間に漂うさまは、荘子が理想とする「逍遥遊」の境地を象徴している。社会の束縛、人為の秩序から離れ、自由自適な境地に遊ぶ理想像として、舟に乗る漁師は詩歌の中に歌われていくことになった。柳宗元「江雪」に詠まれる、雪中の漁師もその一例である。

漁労は当時、身分が低く、貧しい生活の象徴でもあった。それゆえに、既成の価値観や倫理的な枠組みに対し、批判の意味をもち続けることができた。貧しく何ものにも束縛されないからこそ、自適に暮らすことができたのである。やがて、それは俗世を捨て、自然に隠遁する隠者の像と重なることになる。



『漁夫図』
（明代　張路筆）

「三国志」の世界

史実と文学的創作とが交錯する史伝を豊富に採録。文章表現の巧みさや登場人物の描かれ方に着目して、漢文のおもしろさを存分に味わえるようにしました。

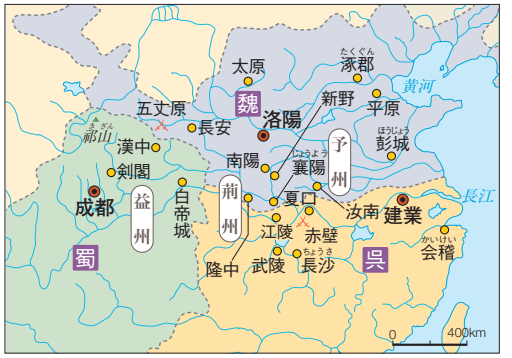
三世紀初めの後漢末の中国では、曹操が率いる魏、漢王朝の継承を唱える劉備の蜀、孫権が守る呉の三国が鼎立、群雄が割拠して覇を競った。その激動の時代は、個性ある人物たちによって歴史書に彩られてきた。

5

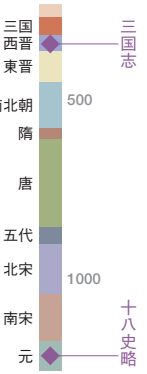
乱世之姦雄

操少機警、有権数。任侠放蕩、不治行業。

『三国志』関係地図



1 **操** 一五五年～二二〇年。三国の魏の曹操。字は孟徳。武帝と諡された。
2 **機警** 機転がきき、察しが早い。
3 **権数** 人を巧みに欺くはかりごと。権謀術数の略。
4 **行業** 節操と学問。



◈曹操はどのような人物として描かれているか、説明してみよう。



曹操像（江戸時代後期　葛飾北斎筆）

5 汝南許劭、与従兄靖有高名。共覈論郷党人物。毎月輒更其題品。故汝南俗有月旦評。

操往問劭。曰、「我何如人。」劭不答。劫之。乃曰、「子治世之能臣、乱世之姦雄。」操喜而去。

（十八史略）

5

5 **汝南** 現在の河南省汝南県。
6 **許劭** 一五〇年～一九五年。後漢の人。字は子将。
7 **靖** 生没年未詳。字は文休。
8 **覈論** よく調べて評論する。
9 **題品** 物事の優劣を批評すること。
10 **月旦評** 毎月一日に行われた人物評。

問 許劭は、なぜ答えなかったのか。

＊**何如** A ソ ナル　どのようなA か。〔疑問〕

三往、乃見

時ニ先主屯ニ新野一。徐庶見ニ先主一。先主器レ之。謂ニ先主一曰、「諸葛孔明者、臥竜也。将軍豈願レ見レ之乎。」先主曰、「君与倶来。」庶曰、「此人可ニ就キテ見一レ不レ可ニ屈致一也。将軍宜ク枉ゲテ駕ヲ顧ミル之。」

由レ是先主遂詣レ亮。凡三往キテ乃見ル。因リテ屏レ人ヲ曰、「漢室傾頽、姦臣窃レ命、主上蒙レ塵。孤不ニ度ラ量レ力、欲レ信ニ大義ヲ於天下一。而智術浅短、遂ニ用ヒ猖獗ヲ至ニ于今日一。然志猶未レ已。君謂計将ニ安出ヅクニカ一」

亮答曰、「自リ董卓已来、豪傑並起、跨レ州連レ郡者、不レ可レ勝レ数。曹操比ニ於袁紹一、則名微而衆寡。然操遂能克レ紹。以レ弱ヲ為レ強者、非ニ惟タダ天ノ時ヲ、抑亦人ノ謀ハカリゴトヲ也。」

（三国志）

1 **先主** 劉備（一六一〜二三）を指す。劉備は三国の蜀の建国者。字は玄徳。当時、漢の将軍であった。
2 **新野** 河南省南陽市新野県。
3 **徐庶** 生没年未詳。三国時代の策士。字は元直。
4 **器レ之** この人の才能を高く評価する。
5 **諸葛孔明** 一八一年〜二三四年。三国の蜀の政治家。名は亮。孔明は字。
問 「臥竜」とは、どのような意味か。
6 **就** 近づく。
7 **屈致** 無理に招き寄せる。
8 **枉レ駕** 乗り物をわざわざ立ち寄らせる。
9 **屏レ人** 人ばらいをする。
10 **傾頽** 落ちぶれ、滅亡する。
11 **主上** 天子。漢の献帝をいう。
12 **蒙レ塵** 天子が都から逃げ出す。
13 **孤** 私。王侯の謙称。



三顧堂（湖北省襄樊市）

◈劉備と諸葛亮との出会いを、順を追って整理してみよう。

＊豈A（乎） おそらくAであろう。〔推量〕
＊安A（スル） どこにA（する）か。〔疑問〕
＊非ニ惟A一、抑亦B也 ただAだけではなく、さらにBである。

14 **猖獗** 失敗する。
15 **董卓** ？〜一九二年。後漢末の群雄の一人。字は仲頴。献帝を擁立して専横をきわめた。
16 **不レ可レ勝レ数** 全てを数えあげることができない。
17 **曹操** 276ページ注1参照。
18 **袁紹** ？〜二〇二年。後漢末の群雄の一人。字は本初。
問 「天時」「人謀」とは、それぞれ何を意味するか。

現代とのつながりという観点から古典の世界について解説したコラム「今に生きる古典」。古典をより身近に感じられるようになり，古典に親しもうとする態度を養います。

今に生きる 古典

日本人と三国志

中国の古典の中でも、特に三国志の世界は今でも日本人の生活の中に息づいている。そして、私たちはあまり意識せずに三国志にちなむ言葉を日常生活で使っている。例えば、大切な人材を自分の陣営に招きたい時に「三顧の礼を尽くしてお迎えする」と言うことがある。この「三顧の礼」という言葉は、蜀の劉備が諸葛孔明を軍師として自陣に迎える際に、三度まで孔明のもとを訪問して礼を尽くしたという故事に基づいている（「三往、乃見」278ページ参照）。また「危急存亡の秋」という言葉がある。これも三国志にちなむもので、諸葛孔明が魏を討つための決戦に臨んで、後主劉禅（劉備の子）に奉った上表文（これを「出師の表」という）中に用いた言葉である。危難が間近に迫り、生き残れるかどうかの瀬戸際の状況にあることをいう。

このように三国志の世界は古くから親しまれてきたが、とりわけこの日本人の好みに拍車をかけたのが、今から三百年以上前の一六九一（元禄四）年に刊行された『通俗三国志』であろう。

この書物は明代の羅貫中の作とされる通俗小説『三国志演義』を翻訳したもので、翻訳者は湖南の文山と名のる、経歴不明の人物である。軍記物のような歯切れのよい名調子で翻訳された本書は、出版後すぐにベストセラーとなった。全五十巻という、当時としても分量のある大部の著作であったにもかかわらず、刊行の翌年にはすぐさま再版されていることから考えても、本書がいかに人気を博した書物であったかがわかるであろう。本書は、歴史を題材としたフィクションの世界を紹介したものではあったが、ここに描かれた三国志の世界はまたたくまに多くの読者をとりこにしたのであった。

江戸時代も終わり頃になると、この『通俗三国志』にビジュアルな要素を加えた書物が登場する。一八三六（天保七）年から一八四一（天保一二）年に



『絵本通俗三国志』より
葛飾戴斗の挿画

かけて刊行された『絵本通俗三国志』である。本書では、有名な場面に浮世絵師葛飾北斎の門人である葛飾戴斗による勇壮な挿絵を添えている。そのため本書の刊行を機に、字は読めなくとも、挿絵で物語を楽しみたいという読者までも巻き込んで、三国志の世界はなおいっそう日本の社会に浸透していったのである。かくして、三国志の重要な登場人物の一人である関羽は、江戸のお祭りにまで登場することとなった。

江戸三大祭の一つに数えられた神田明神の祭礼には、神々や武将などを飾った山車が街角を巡行したが、この山車の中の一つに、青龍偃月刀という武器を手に持つ関羽を祭ったものがあった。現在は、この模型が東京都墨



神田明神山車（関羽山車）模型

田区にある東京都江戸東京博物館に展示されており、江戸っ子が自分たちの守り神として振り仰いだ関羽像がどのようなものであったか、実際に確認することができる。

関羽は『三国志演義』の中で武勇に優れた、義理堅い忠義の人として描かれ、その完璧なまでの正義のキャラクターが民間に定着した結果、しだいに民衆の崇拝の対象として神格化されていった。そして、関帝と呼ばれる神となったのである。神田明神の山車に鎮座する関羽像は、当然この流れの上にある。

関羽を祭った社を関帝廟というが、これは中国のみならず東アジアの国々に、あるいは世界各地にある中華街等に存在し、商売の神や吉凶を占う神として人々の尊崇を集めている。日本でも横浜や神戸などに関帝廟があるが、ここを訪れると、赤黒い顔に切れ長の目で、長いひげを生やした関羽像の前で、人々が変わらぬ敬愛の念をもってぬかずく姿を目にすることができる。

また、興味深いことに関羽は仏教寺院の守り神（これを伽藍神という）でもある。この風習もまた日本に伝わり、江戸時代初期に明からの渡来僧によって開かれた黄檗宗の寺院には今もなお多く関帝を祭っている。

指導書・教材

■ 指導書には、教材研究や評価に活用できる資料はもちろん、ワークシート・テスト問題・補充教材などを豊富に収録しました。

■「アクティブ・ラーニングのために」を新設し、主体的・対話的に学びを深める学習活動案を示しました。

指導書

本体価格二九、〇〇〇円（税別）

■ **指導資料**
教材研究に役立つ資料や、実際の授業や評価で活用できる情報を豊富に掲載しています。

■ **発問例集**
指導資料に掲載した発問をまとめたデータを収録しています。

■ **ワークシート**
- 構成・内容理解シート
- 語句・漢字学習シート
- 古文品詞分解シート
- 漢文書き下し文シート
- 古典口語訳シート

■ **基本テスト**
短時間で基礎を養う小テスト。現代文編では漢字や語句、古文では文法、漢文では句法などについて出題します。

■ **評価問題**
定期考査などに使える問題を、各教材、難易度別に複数収録しています。

■ **実力問題**
教科書の教材と同じ著者の作品や、別の著者による同じテーマの文章などを素材にした実力問題を豊富に収録しています。

■ **補充教材**
教科書の教材に関連する資料や、発展的に読むことができる作品などを収録しています。

■ **教科書原文**
教科書教材文の原文データを収録しています。

■ **朗読CD**
一部の教材について、朗読を収録した音声CDです。

■ **漢文エディタ**
訓読文や漢文テストの問題文を編集するためのソフトです。

■ **学習課題ノート**
別売の生徒用教材『学習課題ノート』のデータを同梱しています。

■ **教師用教科書**
教科書の紙面に、文章構造や要約、口語訳や文法の解説、「学習の手引き」の解答例など、授業に役立つ情報を青字で刷り込んだものです。

指導書別売品

■ **教師用教科書** 本体価格五、〇〇〇円（税別）
指導書の「教師用教科書」と同じものです。

■ **指導資料PDF版** 本体価格五、〇〇〇円（税別）
指導書の「指導資料」の紙面をPDFデータにしたものです。

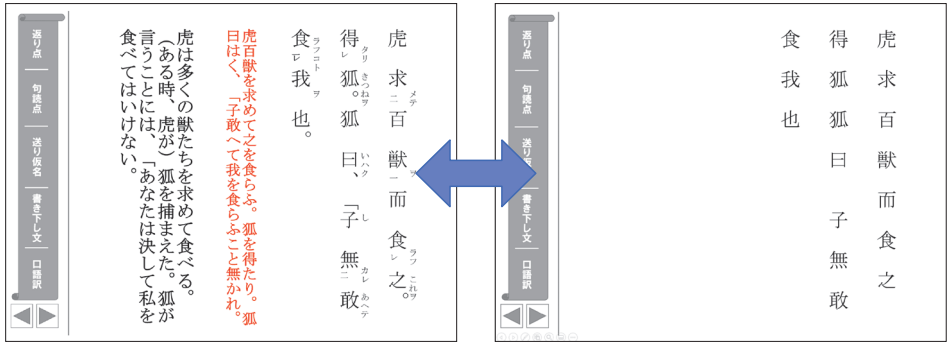
生徒用教材

■ **学習課題ノート** 本体価格八〇〇円（税別）
教科書準拠のワークブックです。別冊解答には、自習にも使える詳しい解説が付いています。

授業で使える便利なツールをダウンロード!!

投影用本文データ

電子黒板など大画面に提示する簡易版デジタル教材として活用できる**「本文パワーポイントデータ」**がダウンロードできるようになりました。
ボタンによって表示内容の切り替えができます。



返り点、句読点、送り仮名、書き下し文、口語訳の表示/非表示が切り替え可能!

ダウンロード方法

1. 下記 URL から三省堂教科書ページへ
2. 対象書名を選択
3. 教科書ページの「資料ダウンロード」内にある サポート資料 からダウンロードページへ遷移
4. 認証情報を入力※
5. 各データをダウンロード



画像は高等学校現代文Bのものです。

※認証には指導書本冊が必要になりますので、お手元にご準備ください。

三省堂教科書ページ
https://tb.sanseido-publ.co.jp/h-school/hs-kokugo/

デジタル教材

指導者用デジタルテキスト

はじめに

●教科書の内容を最大限に活用すること

デジタルテキストでは，教科書本文の拡大提示，付録や図版資料のインデックスおよびその拡大提示など，教科書の内容を提示用の素材として，最大限に活用することをコンセプトに製作いたしました。

●CoNETSビューア

平成29年度版からは教科書会社14社が参画して開発した共通プラットフォームCoNETSビューアでのご利用になります。

▶CoNETSについて（http://www.conets.jp/）

CoNETSビューアでは，先生ごとにユーザーを登録することで，書き込み情報や履歴などをそれぞれに保有することができます。



※画面サンプルはすべて「精選国語総合」となっております。

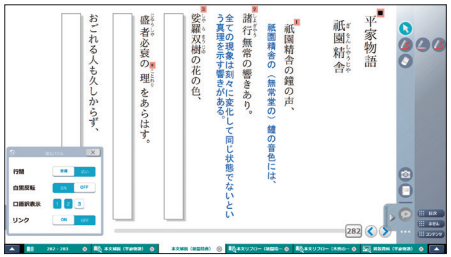
指導者用デジタルテキスト　〈校内フリーライセンス〉※1			
OS	ライセンス期間	価格	インストール方法
Windows版	教科書利用期間一括※2	40,000円+税	DVD-ROM / ダウンロード
Windows版 単年度ライセンス	ご購入年度末まで	18,000円+税	DVD-ROM / ダウンロード

学習者用デジタルテキスト　〈1端末1ライセンス〉※3, 4			
OS	ライセンス期間	価格	インストール方法
Windows版 / iOS版	教科書利用期間一括※2	1,500円+税	ダウンロード

※1 校内のすべての端末にインストール可能です。なお，価格は1学年の価格です。
※2 収録されている検定教科書の使用期間中はご利用いただけます。
※3 教師用デジタルテキスト購入校のみ購入できます。
※4 インストールする端末（1端末）ごとにライセンス料金をお支払いいただきます。

指導者用 豊富なコンテンツで授業をサポート

■ 本文解説



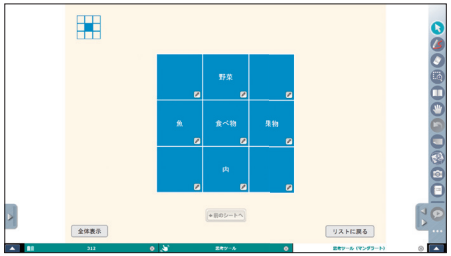
本文の口語訳のon/offができます。マスクをはがしながら表示することもできます。

■ コンテンツ一覧



「フラッシュカード」「図版資料」「人物相関図」など，さまざまなコンテンツを収録。

■ 思考ツール



デジタルテキストオリジナルのコンテンツも多数収録しています。

■ オンライン辞書



授業での提示に特化した指導者用の辞書サイトをデジタルテキストのリンクからご利用いただけます。

●動作環境 指導者用 （2020年1月現在）

	Windows版
OS	Windows 8.1 / Windows 10（32bit / 64bit 対応）※1
ブラウザ	Internet Explorer 11
CPU	Intel Core i3以上推奨
メモリ	4GB以上
空き容量	4GB以上（ビューア1GB+教材3GB）
その他	.NET Framework 4.5.1以降

※ Microsoft, Internet Explorer および Windowsは，米国Microsoft Corporationの，米国およびその他の国における登録商標または商標です。
※1 Windows RTには対応しておりません。

動作環境や導入にあたっての条件等は，CoNETSのWebサイトにて最新の情報をご確認ください。 http://www.conets.jp/

学習者用デジタルテキストについての特徴や動作環境など，その他詳細な情報は三省堂教科書・教材サイトをご覧ください。
●体験版DVD-ROMのお申し込みはeメールにてご連絡ください。
eメールアドレス：info-tbdt@sanseido-publ.co.jp

★三省堂教科書・教材サイト
https://tb.sanseido.co.jp